

2024年（令和6年）8月30日

大阪府教育委員会教育長 様  
市町村教育委員会教育長 様  
大阪府公立小・中・義務教育・特別支援学校長 様

大阪府公立学校事務研究会  
会 長 宮崎 利靖  
第33回研究大会実行委員会  
実行委員長 田中 由加里

### 第33回大阪府公立学校事務研究大会の開催について

残暑の候、貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、本研究会の活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第33回大阪府公立学校事務研究大会を下記のとおり開催するはこびとなりました。公務何かとご多忙のこととは存じますが、貴所属職員の参加につきまして格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

#### 記

- 1 大会テーマ 『学校事務をアップデート！～豊かな学びを支える学校を作ろう～』
- 2 目的 社会に対応しうる学校事務を創造し、自主的かつ主体的な研究活動の推進をもって、未来を展望した学校事務職員の果たす役割を明確にすると共に、自らの資質向上と学校教育の発展に寄与する。
- 3 主催 大阪府公立学校事務研究会
- 4 後援 大阪府教育委員会  
大阪府都市教育長協議会  
大阪府町村教育長会  
大阪府小学校長会  
大阪府公立中学校長会
- 5 期 日 2024年（令和6年）11月1日（金）13：00～（受付開始12：30～）
- 6 内 容
  - ・開会行事 13：00 ～ 13：10
  - ・記念講演 13：15 ～ 14：45  
演 題 『働き方改革時代の学校事務職員に求められるタイムマネジメント』  
講 師 東北大学大学院教育学研究科 教授 青木 栄一 様
  - ・パネルディスカッション 15：00 ～ 16：40  
テーマ 豊かな学びを支える共同学校事務室  
パネラー 新潟市立白根第一中学校 総括事務主幹 松野 千恵美 様  
名張市立梅が丘小学校 主査 宮部 優 様  
愛媛県立吉田高等学校 事務長 吉村 由巳 様  
都城市立祝吉小学校 事務副主幹 川野 貴志 様
  - ・諸連絡・アンケート回答 16：40 ～ 16：50

7 会 場 クレオ大阪東 ホール  
大阪市城東区鳴野西2-1-21  
アクセス：JR環状線「京橋」駅 南口 徒歩7分



8 開 催 方 法 集合およびZoomオンライン配信

9 参加申込案内

◇参加費 1,000円

◇申込方法

①参加費を振込（複数人で一括振込可・手数料はご負担願います）

②振込完了後、下記の「申し込みフォーム」よりお手続きをお願いします。

※参加費を取りまとめてお振込みいただいた場合も、参加申込手続きは一人ずつお願いします。



【申し込みフォームURL】

<https://forms.office.com/r/gjk63wDmQQ>

◇振込先

[ゆうちょ銀行ご利用の場合]

口座番号 00900-2-217495

加入者名 大阪府公立学校事務研究会

[他の金融機関・ネットバンキングご利用の場合]

ゆうちょ銀行 ○九九（ゼロキュウキュウ）支店

当座預金 0217495

（口座名義）大阪府公立学校事務研究会

◇受付期間

2024年（令和6年）8月30日（金）～9月30日（月）

※当日受付は行いません。参加を希望される場合は、必ず事前に申込みをお願いします。

受付期間外の参加申し込みは受付いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

◇問い合わせ先

第33回研究大会実行委員会 実行委員長 田中 由加里

松原市立天美北小学校 電話：072-335-7400

メール：taikai.fujiken@gmail.com

10 その他

① 欠席された場合、参加費は返金できません。

② 申し込みにあたっての個人情報については、今大会にのみ利用させていただきます。

③ 研究集録等、資料は、大阪府公立学校事務研究会ホームページの第33回研究大会のページに、開催1週間前までにアップロードしますので、ご活用ください。

大会専用ページのログインパスワードは、受付期間終了後、10月25日までに申込者宛へメールで連絡いたします。

※開催当日、会場で紙媒体の資料は配布いたしません。

## 第33回大阪府公立学校事務研究大会概要

### 記念講演

#### ○演題

『働き方改革時代の学校事務職員に求められるタイムマネジメント』

#### ○講師

東北大学大学院教育学研究科 教授 青木 栄一様

#### ○略歴

東京大学教育学部卒業、同大学大学院教育学研究科博士課程修了。博士(教育学)。  
国立教育政策研究所教育政策評価・研究部研究員等を経て、  
2010年より東北大学大学院教育学研究科 総合教育科学専攻准教授、2021年度より現職。  
また、兵庫教育大学、放送大学で客員教授。  
これまで、コロンビア大学、オックスフォード大学、台湾師範大学で客員研究員を歴任。

#### ○講演の概要

学校における働き方改革「元年」といえる2019年から5年が経ちました。

この間、国・地方自治体・学校が一体となって、各々がそれぞれの立場でできることを進めてきましたが、依然として学校現場での長時間勤務は問題となっています。

その中で、青木教授は「学校事務職員が教員の働き方改革のために犠牲を払うのは本末転倒であり、学校事務職員にも働き方改革は必要である。その上で、学校事務職員を含めた教職員が一体となって安心安全な職場づくりを進め、各自のワークライフバランスを実現し、ひいてはウェルビーイングを高める必要があると考えています。」とめざす方向を示します。

今年度から全小・中学校配置の予算がついた教員業務支援員の運用についても触れていただきます。

問題の渦中にある私たち学校事務職員にできることは何か、視野を広げて学校の多忙解消を考えることができるよう、新しい発見と知識をご教授いただきます。

#### ○主な講演等

2024年7月22日 教職員のワークライフバランスを取り戻すためにできること

岡山市教育研究研修センター「令和6年度中堅教諭研修講座」

2024年7月1日 教職員のワークライフバランスを取り戻すためにできること

岡山市教育研究研修センター「令和6年度校長研修講座」

2023年12月15日 教職員がいきいきと働けるためのタイムマネジメント

令和5年度 徳島県教育委員会リーダーシップ養成研修

2023年8月1日～11月30日 学校の働き方改革で学校ができること

神奈川県教育委員会管理職育成指針に係る選択受講講座講師

2023年7月5日 学校の働き方改革について

令和5年度学校組織マネジメント研修講師(主催:独立行政法人教職員支援機構)

## パネルディスカッション

### ○テーマ

#### 「豊かな学びを支える共同学校事務室」

大阪の共同学校事務室は、自治体によってさまざまな経緯があり、それぞれ目的や形態が異なっている。また、共同学校事務室等のスタートした時期も自治体によって大きく異なり、20年以上の歴史の中で取り組みが充実している自治体、今まさに取り組みを始めようとしている自治体など様々である。そのような状況の中で、府事研研究部では、来年度の全事研大会で、「学校のカリキュラムマネジメントを支える大阪の共同学校事務室」を提案予定である。研究部では、「業務負担軽減」、「標準化(職務領域、業務量、業務手順)」、「人材育成」「学校経営参画(カリキュラムマネジメントの推進)」の四つの観点から共同学校事務室の研究を試みている。唯一の「大阪の共同学校事務室」の提案を目指すのではなく、それぞれの自治体課題に応じて、それぞれの組織形態や取り組み手法があることを受容しながら、自治体課題に応じた共同学校事務室等のバリエーションを模索していく予定である。

今回のパネルディスカッションでは、共同学校事務室の目的を大きくとらえ、「豊かな学びを支える共同学校事務室」とした。様々な自治体の方にお集まりいただき、それぞれの地域で行われている共同学校事務室等の実践をお話しいただく。それぞれに力の入れどころや、共同学校事務室等を支える制度等は異なるが、各々の自治体の課題を見据え、最終的に子どもたちの豊かな学びにつながる学校や、学校事務職員の取り組みを支える共同学校事務室を模索していることを共有し、議論を深めていきたい。